

## 表彰

### 令和2年度 危険物に関する標語

坂東地区危険物安全協会において、境町・坂東市の小学4年生を対象とした「危険物に関する標語」を募集しました。審査の結果、入賞した町内小学校の作品は次の通りです。

**優秀賞**  
**気をつけよう うっかりミスにご用心**  
 境小学校 高橋咲羽

#### 入賞

<b>危険物 取りあつかいに 注意して</b>	長田小学校 草間凜虎	<b>危険物 無事故を目指し 全集中</b>	猿島小学校 倉持二菜
<b>自主点検 無事故につながる 第一歩</b>	猿島小学校 野村菜都	<b>確認は 命を救う 第一歩</b>	猿島小学校 櫻井朝日
<b>危険物 気をつけ守る みんなのくらし</b>	静小学校 染谷美羽	<b>危険物 使った後には かくにんを</b>	長田小学校 櫻井優妃
<b>消したかな? 家族を守る 火の確認</b>	境小学校 高崎柚乃	<b>火のかくにん その1つで 命を守る</b>	森戸小学校 藤巻理夢

## 寄付

12/21

### 平川直人さんより寄付

平川直人さん（長井戸）が、コロナ対策に役立ててほしいと、さかい活力応援給付金ご家族3名様分、3万円を寄付されました。

12/22

### 有限会社赤荻製作所がポリプロピレン製折畳式簡易ベッド等を寄贈

有限会社赤荻製作所（赤荻藤一代表取締役）より、災害避難所等で活用していただきたいと、ポリプロピレン製折畳式簡易ベッド10台、ポリプロピレン製パーテーション一式が寄贈され、役場で寄贈式が行われました。



寄贈に訪れた赤荻藤一代表取締役（写真右）



防水製なので消毒ができ、清潔です

12/22

### 匿名希望の法人が寄付

町内の法人（匿名を希望）が、町のために役立ててほしいと17万円を寄付されました。

11/18

### 大久保徹さんより寄付

大久保徹さん（塚崎）がコロナ対策に役立ててほしいと5,555円を寄付されました。

12/1

### イタリアン工房AFCがコロナ対策用品を町へ寄贈

イタリアン工房AFC（染谷節代表）が新型コロナウイルス感染症拡大防止に役立てていただきたいと、温度表示オートスプレー4台、小型加湿器9台、超音波式加湿器2台を寄贈されました。

12/7

### 絆会がまちへ寄付

絆会（篠原勉会長）が、教育のために役立ててほしいと30万円を寄付されました。



副町長に目録を手渡す  
安井正博副会長（写真左）

12/14

### 茨城境ライオンズクラブが児童生徒に年賀ハガキを贈呈

茨城境ライオンズクラブ（福島弘康会長）が、町内7つの全小中学校の児童生徒へ年賀ハガキを贈呈されました。



寄贈に訪れた福島弘康会長  
（写真左）

3/28

### 遊徳保育園竣工式を開催 4月1日より開園

3月28日（日）、社会福祉法人さしま福祉会遊徳保育園の竣工式を開催しました。



境町に新しい保育園が開園しました

4月1日の入所児童は、30名で、永年の課題であった、病児保育を、初めて実施をする施設になっており、子どもを安心して預けられる保育環境、地域に根差した園になることが期待されています。

3/31

### Oyako食堂 ごはんの樹 グランドオープン



3月31日（水）、境町文化村保健センター隣地に「Oyako 食堂 ごはんの樹」がグランドオープンしました。ごはんの樹はお子様の「よく噛んで食べる」を応援する歯医者プロデュースする「食育カフェ」です。一汁三菜の和食の素晴らしさを取り入れ、安心・安全な美味しく健康になる食事を提供します。

健全な口腔機能を育成するための食の在り方を親子で楽しく学びながら身に付けることができます。親子の交流の場としてぜひ、ご来場ください。



0歳からの離乳食もご用意しています

3/31

### (株)一条工務店及び(一社)協働プラットフォームとの包括連携協定を締結

3月31日（水）、境町役場にて、大手住宅メーカーの株式会社一条工務店、一般社団法人協働プラットフォームが、地域防災や地方創生などに連携して取り組む協定を締結しました。移動式仮設住宅を3棟設置し、学童保育やお試し居住施設として利用したり、町内のホッケー場に隣接させてクラブハウスとして活用していきます。

建物は、災害時には23棟の仮設住宅に分割して被災地に運ぶことができ、現地で仮設住宅を一から建設するよりも大幅に早く入居することができます。また、企業が「企業版ふるさと納税」の制度を活用して住宅メーカーから移動式仮設住宅の現物が寄付されるため、境町の財政的な負担はありません。橋本町長は、「自治体としては、財政面の不安がないのがありがたい。協力してくれるメーカーが増えることに期待したい」と述べていました。



目録を受け取る橋本町長

3/16

### 海外の小中学生と 静小学校が オンラインで意見交換



3月16日（火）、境町の小中学生が「With コロナ」をテーマにオンラインで中国やサイパンの小中学生と英語で意見交換をしました。

【ジュニア・グローバル・フォーラム（コロナ禍における各国の取り組み）】

コロナ禍における新しい生活様式のもとで、大きく変化した学校生活や日常生活について小中学生が意見交換し、現状や今後の展望についての想いを伝えあうとともに、国際交流の観点から新しい日常を見つめ直しました。コロナ前とコロナ後の様子について、事前に参加校が制作した映像作品を鑑賞し、学校の様子、家庭での様子、友人関係の変化、授業や勉強、コロナ終息後にやりたいことなどについて質問をして、それぞれが回答を発表しました。

3/22

### 定住促進住宅第4弾「アイレットハウス ひまわり館」が完成しました

3月22日（月）、定住促進住宅の第4弾となる、アイレットハウスひまわり館が完成し、落成式が開催されました。定住促進住宅は2018年から毎年建設し、モクセイ館（35戸）、カンナ館（20戸）、さくら館（27戸）の計82戸が順次完成し、全室満室となっています。

これまで、子育て・新婚世帯の町内定住を促すのが目的でしたが、今回は、近隣企業の従業員を町内に呼び込むために建設しました。



テープカットの様子

3/24

### 利根川左岸河川防災ステーション 新規登録通知伝達式

3月24日（水）、境町と国土交通省利根川上流河川事務所による「境町利根川左岸河川防災ステーション」の整備計画が国土交通省に新規登録されました。国が盛土造成、緊急復旧用資材の備蓄、ヘリポート等の整備を、町が水防センターの整備を担当します。水防センターは、緊急時の防災拠点や避難場所としてだけでなく、平常時にも地域の振興の場として有効に利用される施設を目指します。

橋本町長は、「様々な災害経験をしてきたが、境町は川と共に発展した町なので、川と共に生き、その中で川の防災を守っていく、それが境町のあるべき姿だと考えている。町としても引き続き、利根川上流河川事務所と連携を図りつつ、完成に向けてしっかり努力していきたい」と述べていました。



境町役場で行われた伝達式